

WHOセーフコミュニティ協働センター
セーフコミュニティ認証申請書
(様式A)



埼玉県秩父市

コラム 1	コラム 2
コミュニティ記載欄	審査員記載欄
セクション A コミュニティの概要	
<p>A-1 コミュニティ及びその歴史的発展について簡潔に述べよ。</p> <p>秩父市は、埼玉県の北西部にあり、人口は7万人弱、面積は577.83km²で、埼玉県全体の約15%を占めています。日本の首都である東京都の中心部から約70km西方に位置し、周囲に山岳丘陵を眺める盆地を形成しています。市域の87%は森林で、その面積は埼玉県の森林の約40%を占めています。1600年代以降、養蚕が盛んとなり、1900年代前半まで、絹織物産業が栄えました。これに伴い、伝統行事や文化財も数多く残されています。</p> <p>気候は、太平洋側内陸性気候に属しおおむね温暖ですが、盆地であるため寒暖の差が大きく、山地では夏季に雷雨が多く発生し降水量も多く、山岳地方では冬季にはかなりの積雪となります。</p> <p>※「別添説明書 P.1～P.9 秩父市の概要」にて詳細を記載。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>A-2安全に関する全体的な方策、抱負・目標、コミュニティの取り組みについて述べよ。</p> <p>(コミュニティが<u>安全についてどのような方法で、どのようなビジョンと目標に向けて取り組んでいるのか</u>を示せば良い。その目指すものが「一般的な (SC無しでも到達できるような安易な) レベルではないこと」が求められる)</p> <p>秩父市では、まちづくりの基本指針として『第一次秩父市総合振興計画』を策定しており、7つの基本方針で構成されています。その中で、安全向上の在り方については、以下の2つの基本方針が該当しています。</p> <p>① 目標</p> <p>基本方針 ○安全で住みたくなる「快適なまち」</p> <p> ○互いに助けあう「協働のまち」</p> <p>② 方策</p> <p>①の目標を実現するため、「安全なまちづくりの推進」及び「ともに築く市民参加のまちづくり」を推進しており、その一環として「セーフコミュニティの推進」を実施計画として位置づけています。</p> <p>③具体的な方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全なまちづくりを所管する危機管理課にセーフコミュニティ担当を配置しました。 ・民間・行政を問わず、地域のさまざまな団体が参加する推進協議会・外傷サーベイランス委員会・7つの対策委員会を設置しました。 	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>・対策委員会の活動等を通じ、さまざまな団体が協働して安心・安全の取組みを実践しています。</p> <p>※秩父市セーフコミュニティの組織に関しては「別添説明書 P. 31～P. 36 セーフコミュニティ活動の推進体制」を、総合振興計画に関しては、「別添説明書 P. 99～P. 100 長期的な活動を確保するプログラム」を参照のこと。</p> <p>④取組の推進</p> <p>秩父市では、地域住民が主体的なまちづくりを行う組織として「町会」があります。町会への加入率は約94%で、ほとんどの市民が加入しています。市内には82町会があり、各地区において、防犯や災害対策などの主体となって活動を推進しています。この町会から選出された代表者が、重点分野ごとに設置した7つの対策委員会に1人ずつ参加し、秩父市全体でセーフコミュニティの取組みを推進しています。</p>	
<p>A-3 首長（及び同等の立場）及び実行委員会はどのように関わっているか。また、（セーフコミュニティを推進するための）分野横断的な組織のトップは誰か。</p> <p>市長が秩父市セーフコミュニティ推進協議会（秩父市セーフコミュニティの決定機関で、警察や消防など秩父市の安心・安全に関わる38団体の長で構成される）の会長となり、分野・組織を超えた協働によるセーフコミュニティ活動を包括的に管理、推進しています。</p> <p>行政内にも分野横断的な協働を進めるため、危機管理課にセーフコミュニティ担当を設置し、全庁的に取組む体制を確保しています。</p> <p>また、市議会は、セーフコミュニティの趣旨に賛同しており、活動を支援しています。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p>首長は関わっているか？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>実行委員会は関わっているか？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>どこが分野横断的なグループをまとめているか？</p>
<p>A-4 コミュニティにおけるリスクの概観について述べよ。</p> <p>秩父市では、地域診断の結果、7つの重点分野を設定しました。各分野におけるリスクの概要を記載します。</p> <p>① 交通安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送の約40%は、交通事故。 ・死亡、重傷事故件数が減っていない。 <p>② 高齢者の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の高齢者人口が年々増加し、単身者も増加している。 ・高齢者の救急搬送割合が高く、特に転倒による受傷が多い。 <p>③ 子どもの安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内、自宅での受傷が多い。 ・自転車での交通事故が多い。 	<p>リスクの外観は十分に記述されているか？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>④ 自殺予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国、埼玉県と比較し、自殺発生率が高い。 ・40歳～60歳代の男性の自殺が多い。 <p>⑤ 犯罪の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪件数は少ないが減っていない。 ・中心市街地での犯罪発生率が、埼玉県平均並みに高い。 <p>⑥ 災害時の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に対する不安を感じている市民が多い。 ・大雪による災害が発生し、多くの集落が孤立。 <p>⑦ 自然の中での安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山、ハイキング中の事故が多い。 ・農林作業中の事故が多い。 ・余暇としてのサイクリング中の事故が多い。 <p>※「別添説明書 P.12～P.30 外傷による死亡・ケガ、事故などの状況」にて詳細を記載。</p>	
<p>セクション B コミュニティの構造</p>	
<p>B-1 人口動態構造について述べよ。</p> <p>秩父市の人口は、2015年1月1日現在で66,073人です。人口は、1960年代以降、徐々に減少しています。</p> <p>[年代別]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2010年現在で15歳未満(年少人口)が13%、15～64歳(生産年齢人口)が60%、65歳以上(老年人口)が27%という構成比となっています。 ・年少人口・生産年齢人口が減少している一方で、65歳以上の老年人口は増加しており、少子高齢化が進んでいます。 ・特に人口が多い年代は、男女ともに60歳代であり、若い年代ほど人口が少なくなっています。こうした傾向は、国・埼玉県の人口と共通しています。 <p>[産業別の就業人口]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2010年現在では第三次産業の割合が約63%と高くなっており、現在も増加し続けています。一方で、第一次産業の割合は3%、第二次産業の割合は33%で、いずれも減少傾向にあります。 ・就業人口を産業大分類別にみると「製造業」が21%と最も多く、「宿泊業、飲食サービス業」も10%と高い割合を占めています。観光地であることの表れです。 	<p>人口動態構造とリスクについて十分に記述されているか？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>[外国籍人口]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秩父市における外国人の人口は、2005年の737人をピークに減少しており、2013年には564人となっています。そのうち、最も多いのは中国人の267人、次いでフィリピン人の131人となっています。 <p>※「別添説明書 P.2～P.4 秩父市の概要」にて詳細を記載。</p>	
<p>B-2現在の安全向上・外傷予防の取組み及び今後の計画について述べよ。</p> <p><現在の安全向上・傷害予防の取組み></p> <p>日本では、国・県・市のそれぞれにおいて、行政、警察、消防等が主体となって安全施策が進められています。市では分野ごとに行政計画を策定し、それらに基づいて安全行政を網羅的に進めています。秩父市においても、各分野の計画の基本となる総合振興計画に基づいて、ほぼすべての年齢、性別、環境をカバーした予防対策が実施されています。</p> <p>また、住民レベルでも町会などの地縁組織や交通・防犯などの分野ごとの民間団体が、活発に安全向上のための活動を展開しています。</p> <p>こうした従来からある活動に、新たにセーフコミュニティの視点を加えることで活動を改善するとともに、不足している分野に対しては、予防のための取組みを追加しています。7つの重点課題を解決するための取組みを「町会」を始めとした地域団体や民間団体と行政機関が連携し協力合いあいながら、安心・安全のまちづくりを推進しています。</p> <p>※行政計画・総合振興計画に関しては、「別添説明書 P.99～P.100 長期的な活動を確保するプログラム」を参照のこと。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B-3継続的な傷害予防の取組みに対して、コミュニティの政治家はどのような支援を行っているか。また、地域行政は取組みのどのような部分を担っているか。</p> <p>政治家であり、市行政のトップでもある秩父市長が秩父市セーフコミュニティ推進協議会長を務め、セーフコミュニティ活動を包括的に管理、推進しています。</p> <p>その市長の指示のもと、秩父市は全庁的にセーフコミュニティに取り組み、関係課職員が7つの対策委員会に事務局又は委員として参加しています。</p> <p>秩父市議会議員には、セーフコミュニティ活動の進捗状況について定期的に報告し、助言を受けています。市が負担する予算およびセーフコミュニティの進捗状況については、市議会で報告し、合意を得たうえで進めています。</p> <p>また、関連行政組織として、秩父警察署・小鹿野警察署、秩父保健所、秩父広域市町村圏組合消防本部から、けがや事故等に関するデータの提供</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>を受けているほか、推進協議会・対策委員会・外傷サーベイランス委員会に参加していただき、協働しながら活動を推進しています。</p> <p>※「別添説明書 P. 31～P. 36 セーフコミュニティ活動の推進体制」にて詳細を記載。</p>	
<p>B-4現在すでに策定されている安全向上・傷害予防の取組みの方策（戦略）について述べよ。</p> <p>秩父市では、多くの安全向上・外傷予防を目的とした取組みが、それぞれの分野で体系的に行われています。主な計画は、以下のとおりです。</p> <p>【主な計画の事例】</p> <p>高齢者の安全：「秩父市高齢者福祉計画2011・第5期介護保険事業計画」 市民生活全般：「秩父市地域福祉計画」 子どもの安全：「秩父市次世代育成支援行動計画」 障がい者の安全：「秩父市障がい者福祉計画」 災害時の安全：「秩父市地域防災計画」</p> <p>これらの計画の策定及び推進は、市民との協働のもとに行われます。</p> <p>また、地域の団体・個人もさまざまな安心・安全の活動に携わっており、行政と連携しています。</p> <p>【安全活動の事例】</p> <p>自主防犯組織による防犯パトロール 民生委員による高齢者の見守り 交通安全教室の実施</p> <p>これらセーフコミュニティ着手以前からの取組みに加え、セーフコミュニティを通して7つの重点課題に対して対策委員会を設置し、既存の対策を生かしつつ分野横断的な連携により活動を展開しています。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B-5 安全向上・傷害予防対策の進行・管理の責任者は誰か(または、どの部署か)。</p> <p>また、彼(またはその部署)は地域の政治的組織及び行政組織においてどのように位置付けられているか記載せよ。</p> <p>秩父市セーフコミュニティ推進協議会長（秩父市長）</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B-6 安全向上・傷害予防対策を主導・監督している部署等はどこか。</p> <p>秩父市総務部危機管理課セーフコミュニティ担当</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>B-7 セーフコミュニティは、継続的なプログラムかプロジェクトか述べよ。</p> <p>秩父市経営方針に基づく継続的な重要プログラムとして位置づけています。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B-8 コミュニティの政治的リーダーによって具体的な安全向上に関する目標は設定されているか。また、それはどのようなものか。</p> <p>市長が中心となって策定した今後の市の在り方を示す「第一次秩父市総合振興計画」において、「ともに築く市民参加のまちづくり」という目標が設定されています。</p> <p>この目標を達成するため導入したセーフコミュニティ活動において、(対策委員会ごとに実施する)取組みの成果指標を短期・中期・長期に分けて具体的に設定しています。</p> <p>※各対策委員会の成果指標の詳細は、「別添説明書P.91～P.96 指標6 予防活動の効果・影響を測定・評価する仕組み」を参照のこと。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B-9 その目標を採用したのは誰か。</p> <p>秩父市長 久喜邦康</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B-10 そのSC目標(の達成度)はどのように評価され、その評価結果は誰に対して報告されるか。</p> <p>セーフコミュニティの基本方針となる市としての在り方を示す「第一次秩父市総合振興計画」の達成状況については、5年ごとに進捗状況を確認しています。重点分野ごとの対策委員会において、それぞれが実施する取組に短期・中期・長期の成果指標を設定しています。</p> <p>また、セーフコミュニティの個々の取組みに関しては、短期・中期の成果は対策委員会が、長期の成果は外傷サーベイランス委員会が評価します。また、それらの結果は、秩父市セーフコミュニティ推進協議会に報告し、内部評価を行います。さらに全ての結果を年間レポートにまとめ、セーフコミュニティ支援センターである日本セーフコミュニティ推進機構に提出し、外部評価を受けています。</p> <p>さらに、それらの評価結果は、推進協議会で報告するとともに、市の広報紙やホームページを通じて、市民に広く周知しています。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B-11安全を向上させる対策に、経済的なインセンティブを活用しているものはあるか。また、どのように活用しているか。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p>

<p>高齢化率が上昇し、介護を必要とする市民も増えています。これに伴い、介護保険に係る経費が増加しています。筋力の維持や高齢者同士の見守りプログラムなど、セーフコミュニティ活動を通して経費の増加率を抑えられるよう工夫し、その成果については、指標6の測定及び評価に盛り込んでいます。</p> <p>また、従来から介護保険制度の一環として、自宅の段差解消や手すりの設置などの改修をする際に、20万円を上限額として改修費用の9割を支給しています。</p> <p>防災対策として、自主防災組織が実施する防災訓練に対して、参加人数に応じた補助金を支出しています。また、自主防災組織の活動を補助するため、災害対応資機材の購入の際の経済的な支援を行っています。</p>	<p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B-12安全を向上させるため、地域における規定・規則はあるか。ある場合は説明せよ。</p> <p>「秩父市まちづくり基本条例」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 <p>市民と市がそれぞれの果たすべき責務と役割を自覚し、相互理解と信頼関係を深め、協働してまちづくりを行うことで、明るく豊かで活力に満ちた地域社会を実現することを目指します。</p> ・内容 <p>市、市民、市議会等が協力し、まちづくりの重要な担い手となりうるコミュニティの役割を尊重し、両性の平等のもとで市民の参画を求め、まちづくり計画を策定して協働による市民主体のまちづくりを推進します。この条例の対象には、地域の安全対策も含まれています。</p> <p>「秩父市防犯のまちづくり推進条例」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 <p>防犯のまちづくりを推進するため、市・市民及び事業者等の責務を明らかにし、市民が安全で安心して暮らすことのできる地域社会を実現することを目指します。</p> ・内容 <p>市、市民、事業者等が協力し、防犯意識を高揚させるための啓発活動、自主的な防犯活動、子どもの犯罪被害の防止等を行い、犯罪のない地域社会づくりを推進します。</p> 	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

セクションC 【指標1】	
<p>C-1安全向上・傷害予防対策の管理・調整・企画を担う分野横断的なグループについて述べよ。</p> <p>秩父市では、セーフコミュニティ推進にあたり、下記のとおり分野横断的な組織を設置しています。</p> <p>○ 推進協議会 秩父市の安全に関する民間・行政を含めた38団体の長で構成されています。秩父市セーフコミュニティ活動全体の管理・調整・企画を担っています。</p> <p>○ 対策委員会 交通安全、高齢者の安全、子どもの安全、自殺予防、犯罪の防止、災害時の安全、自然の中での安全という7つの重点分野ごとに管理・調整・企画を担っています。委員は、民間団体・行政機関・地域の代表者など、分野横断的な組織により構成されています。</p> <p>○ 秩父市セーフコミュニティ推進本部(庁内組織) 秩父市長を本部長とし、部長級職員で構成されており、分野を超えた庁内の協働のための管理・調整・企画を担っています。</p> <p>※秩父市セーフコミュニティの組織に関しては「別添説明書 P.31～P.36 セーフコミュニティ活動の推進体制」を参照のこと。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>C-2当該地域の行政及び保健・福祉セクターは、安全向上・傷害予防対策においてどのように協働しているか述べよ。</p> <p>[行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秩父市セーフコミュニティ推進協議会の会長は、秩父市長が務めています。 ・秩父市セーフコミュニティ推進協議会の事務局は秩父市危機管理課が担当し、各対策委員会の事務局は、市の関係課が担当しています。 ・外傷サーベイランス委員会の事務局は、危機管理課と市の政策形成を所管する地域政策課が共同で担当しています。 ・秩父警察署、秩父消防本部からは、ケガや事故に関するデータの提供を受けているほか、各対策委員会や外傷サーベイランス委員会の委員として参加していただいています。 <p>[保健・福祉セクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秩父市の保健医療部から保健センターが自殺対策委員会の事務局を担い、福祉部から高齢者介護課が高齢者の安全対策委員会の事務局を担 	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>っています。その他の関係職員も委員として各対策委員会に参加しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立病院からは、外傷サーベイランス委員会の委員として参加し、データの提供を受けています。 ・埼玉県の保健機関である秩父保健所職員、社会福祉協議会委員、地域包括支援センター職員、民生委員・児童委員協議会委員が推進協議会、対策委員会、外傷サーベイランス委員会等に参加し、情報提供及び取組みの実践を担っています。 	
<p>C-3赤十字、退職者組織、スポーツ組織、保護者学校組織などのNGOが安全向上・傷害予防に関わっているか述べてよ。</p> <p>各分野において以下のような非政府・非営利の団体が秩父市セーフコミュニティ活動に関わっています。</p> <p>(例)</p> <p>地域住民の団体：町会長協議会、健康福祉員連絡会、老人クラブ連合会、在宅福祉員会</p> <p>スポーツ団体：体育協会</p> <p>観光団体：観光協会</p> <p>経済団体：商工会議所、農業協同組合</p> <p>保護者団体：PTA連合会</p> <p>交通団体：交通安全協会、交通指導員会、交通安全母の会</p> <p>その他の民間団体や行政機関等、幅広い分野の団体が秩父市セーフコミュニティの活動を推進しています。</p> <p>※秩父市セーフコミュニティの組織に関しては「別添説明書 P. 31～P. 36 セーフコミュニティ活動の推進体制」を参照のこと。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>C-4一般市民にハイリスクの環境や状況について知らせる仕組みはあるか述べてよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来から、主に、秩父市の広報紙、ウェブサイトや回覧板などを活用しています。 ・自然災害などの緊急時には、防災無線を活用して迅速に情報提供を行っています。 ・さらに、セーフコミュニティに取り組んでから、各地域や会合に出向いて説明会を開催し、ハイリスクの環境や状況について啓発をしています。 	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>・そのほか、市の担当課では、各業務の属する分野におけるハイリスクについて個々に情報発信しています。</p> <p>・また、セーフコミュニティ活動の研修会やシンポジウムを開催したり、ハイリスク情報を掲載した印刷物を作成したりして、市民に情報を伝えています。</p>	
<p>C-5どのように取り組み(work)が持続可能な方法で組織化(体系化)されているか述べよ。</p> <p>セーフコミュニティ推進協議会が中心となり、外傷サーベイランス委員会、各対策委員会、市役所庁内組織が連携して活動を推進しています。</p> <p>外傷サーベイランス委員会は、外傷等に関するデータを収集・分析するとともに、各対策委員会に対して取り組みや成果指標に関する助言を行っています。</p> <p>セーフコミュニティの取り組みは、先に述べた「秩父市第一次総合振興計画」の実施計画に位置付けて、PDCAサイクルに基づいて継続的に行うよう、市の行政評価システムと連携させており、市全体として取り組む体制を整えています。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>セクションD【指標2】</p>	
<p>D-1下記の領域における安全向上・傷害予防に関する継続的な取り組みについて記載すること。また、特定のNGOはじめ各分野がどのように関わっているか述べよ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交通安全 2. 家庭の安全及び余暇時間の安全 3. 子どもの安全 4. 高齢者の安全 5. 労働安全 6. 暴力予防 7. 自殺予防 8. 防災及び災害対策 9. 公共（場）の安全 10. 病院の安全 11. スポーツの安全 12. 水の安全 13. 学校の安全（セーフスクール） <p>これらのうち、コミュニティではなく、他の組織や機関によって担われているものはあるか。それについて、コミュニティはどのように関わっているか述べよ。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

秩父市では、1～13の領域におけるさまざまな安心・安全の活動を行政・民間が行っています。

※下記一覧表の取組み内容の詳細については、「別添説明書 P. 37～P. 42 指標2 すべての性別・年齢・環境に対する長期・継続的な予防活動」を参照のこと。

		年齢層			
		子ども 0歳～14歳	青年 15歳～24歳	成人 25歳～64歳	高齢者 65歳以上
不慮の事故	(1)家庭の安全	12 ①②	7 ①②	7 ①②	29 ③④⑤
	(2)学校の安全	21 ⑥⑧	7 ⑦⑨	4 ⑦	1 ⑦
	(3)職場の安全	—	6	6	6
		—	⑪⑫	⑪⑫	⑪⑫
	(4)交通安全	26 ⑥⑦⑬⑯	17 ⑨⑯⑰	10 ⑯⑰	16 ⑭⑮⑯⑰
		(5)余暇・スポーツの安全	4 ⑱⑲	4 ⑱⑲	3 ⑲
(6)その他	23 ⑩⑳㉑㉒	30 ⑳㉑㉒	29 ⑳㉑㉒	29 ⑳㉑㉒	
	意図的要因	(7)自殺予防	13 ⑧㉓㉔	17 ㉓㉔	18 ㉓㉔
(8)犯罪・暴力の予防		18 ⑦㉕㉖㉗	36 ⑦㉕㉖㉗	35 ㉕㉖㉗	43 ㉕㉖㉗
	(9)災害時の安全	3 —	9 ①㉘㉙㉚㉛	35 ①㉘㉙㉚㉛	35 ①㉘㉙㉚㉛

ここでは、主なものを抜粋します。

1. 交通安全

取組み	実施主体	
	民間	行政
交通安全教室	交通安全協会、交通安全母の会	市内小学校、警察
交通安全街頭キャンペーン	交通安全協会、交通安全母の会、交通指導員	警察、市
信号機・看板の設置		警察、県、市
ゾーン30の設定		警察、市

2. 家庭の安全及び余暇時間の安全

取組み	実施主体	
	民間	行政
高齢者住宅改修補助事業		包括支援センター、市
安全登山キャンペーン	山岳連盟、観光協会	警察、消防本部、県、市
サイクリング安全ポイントの設置	観光協会	県、市

3. 子どもの安全

取組み	実施主体	
	民間	行政
乳幼児保健指導		市
スクールガード（登下校時の見守り）	P T A、町会、育成会	各学校、警察、市

4. 高齢者の安全

取組み	実施主体	
	民間	行政
転倒予防体操	医師会、老人クラブ	包括支援センター、市
ふれあいコール（高齢者の見守り活動）	新聞配達業者、ガス事業者、郵便局、在宅福祉員会など	民生委員、社会福祉協議会、警察、消防本部、市

5. 労働安全

取組み	実施主体	
	民間	行政
労働災害予防運動	各企業	労働基準監督署、県、市
農林作業の危険に関する広報活動	農業協同組合、森林組合	県、市

6. 暴力予防

取組み	実施主体	
	民間	行政
児童虐待防止対策		警察、県、市
高齢者虐待相談		包括支援センター、市

7. 自殺予防

取組み	実施主体	
	民間	行政
ゲートキーパーの養成	医師会、理容師、美容師	民生委員、保健所、市
相談会の開催	医師会、商工会議所、司法書士会	警察、県、市

8. 防災及び災害対策

取組み	実施主体	
	民間	行政
災害時要援護者名簿の作成	町会	民生委員、消防本部、市
土砂災害警戒マップの配布		県、市

9. 公共（場）の安全

取組み	実施主体	
	民間	行政
公園の遊具等の点検	施設管理者	県、市
救命講習	各企業	消防本部、各学校、市

10. 病院の安全

医療法により、病院・診療所は医療の安全を確保するための措置を講ずる（安全管理のための指針の整備・委員会の開催・職員研修の実施など）ことが義務付けられています。各医療機関において、安全管理のための体制を確保しています。

11. 水の安全

取組み	実施主体	
	民間	行政
児童初心者水泳教室	水泳連盟	市

12. 学校の安全

取組み	実施主体	
	民間	行政
自転車安全教室	自転車店	警察、交通指導員、市
体験型学習（ライフスキル教育）		市

<p>校内の安全においては、各学校で取り組んでいます。また、花の木小学校、南小学校及び秩父第二中学校については、セーフコミュニティと連動しながらセーフスクールの認証を目指した活動を行っています。</p>	
<p>D-2 両性、全年齢層、全環境・状況に関する取り組みを記載すること。「転倒予防」などすべての取り組みについて記載し、どのようにその取り組みが行われているか述べよ。</p> <p>秩父市では、ほぼ全ての性別、年齢、環境をカバーした予防活動が行われています。</p> <p>※取り組み内容の詳細については、「別添説明書 P. 37 ～P. 42 指標2 すべての性別・年齢・環境に対する長期・継続的な予防活動」を参照のこと。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>セクションE【指標3】</p>	
<p>E-1全てのハイリスクにあるグループを把握し、安全を向上するためにどのような対策を講じたのか述べよ。ハイリスクにあるグループとは、下記のようなグループがよく挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先住民 2. 低所得層 3. コミュニティ（職場を含む）における少数（マイノリティ）集団 4. 犯罪被害や自傷を含む意図的要因による外傷のリスクにある人 5. 虐待をうける女性・男性・子ども 6. 精神的疾患、発達障害及び他の障害を有する人 7. 安全でないスポーツ、余暇活動に参加している人 8. ホームレス 9. 自然災害において外傷のハイリスクにある人 10. 特定の道路や交差点、水害被害想定地などハイリスクの環境の近くで生活したり働いたりしている人 11. 宗教、民族及び性的な嗜好等によりハイリスクにある人 <p>秩父市では、下記のようなハイリスクグループへの対策を行っています。（※とくに断りの無い対策については、市が実施している）</p> <p>①低所得者層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度(対象世帯数 545世帯 ※2015年2月現在) 一定の要件を満たした低所得者世帯に対し、最低限度の安全で健全な生活を保障するため保護費を支給しています。 ・就学援助制度 (対象世帯数 小学生258世帯・中学生169世帯 ※2015年3月現在) 	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

一定の要件を満たした低所得者層に対し、学校教育に必要な**部活動の道具やヘルメットなどの購入費の一部を補助します。**

②身体障がい者(2,521人)、知的障がい者(503人)、精神障がい者(298人)

※()内の値はいずれも2014年3月31日現在の障がい者手帳所持者数

- ・身体障害の**補装具費**の支給
- ・一時預かり、送迎、外出の介助等の生活サポート
- ・日常生活用具の給付・貸与

③虐待被害者

- ・DV相談（2013年度の相談件数は18件）

DVなどに関する相談を受け付けています。

- ・**児童虐待相談（2013年度の相談件数は30件）**

児童虐待に関する相談を受け付けています。

- ・高齢者虐待相談（2013年度の相談件数は21件）

高齢者本人やその家族、介護・福祉関係者等から高齢者虐待に関する相談を受け付けます。実施主体は、地域包括支援センター※¹です。

※1：高齢になっても、できる限り住み慣れた地域で生活できるように、保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーの専門職員が連携しながら支援をするための組織で、秩父市内に3カ所設置されています。

④ 自然災害時におけるハイリスクグループ

秩父市では、土砂災害や大雪災害に備えた取り組みを行っています。**特に、高齢者、身体障がい者、山間部の住民が対象となります。**

- ・要援護者リストの作成（登録者数 383人 ※2015年3月現在）
災害発生時における要援護者（高齢者や身体障がい者など）リストを作成**しています。**
- ・ハザードマップの作成
土砂災害発生時における居住地の危険度について啓発しています。

E-2 ハイリスク環境の事例を挙げよ。

1. どのようにハイリスク環境を設定しているか述べよ。

秩父市では、土砂災害によるリスクの高い地域を危険個所として以下のように指定しています。

危険個所の種類	箇所数
○地すべり危険箇所	23 箇所
○土石流危険溪流	197 箇所
○急傾斜地崩壊危険箇所	619 箇所
合計	839 箇所

記述は十分か？

はい

いいえ

「いいえ」の場合、不十分な点は何か：

<p>2. 優先的集団や環境について述べよ。 優先的集団・・・上記ハイリスク環境（危険個所）に住む人々、特に高齢者や障がい者など、災害発生時に避難が難しいグループ。 優先的環境・・・上記ハイリスク環境。</p> <p>3. それらに対し、コミュニティでは特定のプログラムがあるか述べよ。 すべての地区（80町会）で、自主防災訓練を実施しています。</p> <p>4. 取り組みのタイムテーブルについて述べよ。 全国防災週間（毎年8月30日～9月5日）に合わせて、各地区で自主防災訓練を実施しています。</p> <p>5. それらのグループは、それらの活動の予防的側面に関わっているか述べよ。 各地区で、町会や消防団が協力し合って、訓練を実施しています。特に、久那地区においては、町会、消防団のほかに、大学、ボランティアグループ等が参加して、避難地区の作成を行っています。</p>	
セクションF【指標4】	
<p>F-1 それぞれの年齢層、環境に対して行われた根拠に基づいた方策(戦略)/プログラムについて述べよ。 秩父市では、様々な年齢層や環境に対して、根拠に基づいた以下のようなプログラムを実施しています。その中で重点課題に対する対策委員会の取り組みは次のとおりです。</p> <p>1 交通安全対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 交通安全教室の実施 ② 事故多発箇所への看板設置 <p>2 高齢者の安全対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 家庭でできる体操（お茶のみ体操）の普及 ② 家庭内事故防止パンフレットの作成・配布（作成中） ③ ふれあいコール（見守り活動）の実施 <p>3 子どもの安全対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 幼児の家庭内事故予防ポスターの作成（作成中） ② 保育所でのリズム遊び（バランス力向上）の実施 ③ 学校内ケガマップの作成 ④ 部活動でのケガ防止マニュアル作成 ⑤ いじめ予防のための体験型学習 	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>4 自殺対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自殺予防フォーラムの開催 ② 専門家による相談会の実施 ③ 投身自殺が多い橋への標語看板の設置 ④ 関係機関の情報共有 <p>5 犯罪の防止対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 防犯パトロールの実施 ② 市街地への防犯カメラの設置 ③ 鍵かけ運動の実施 <p>6 災害時の安全対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 除雪路線図の作成 ② 障がい者の災害時要援護者への登録 ③ 自主防災組織リーダーの養成 ④ 自主防災訓練の充実 <p>7 自然の中での安全対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 安全登山キャンペーンの実施 ② 農林機械取扱いの際の注意喚起チラシ配布 ③ サイクリング安全ポイントの設置 <p>※詳細は、「別添説明書 P. 49～P. 87 指標4 入手及び活用可能な根拠に基づいた予防活動」を参照のこと。</p>	
<p>F-2根拠に基づいた方策（戦略）を企画・実践するにあたって支援センター、認証センター及び他の学術的あるいは知識を有する組織との連絡体制を持っているか。それはどの組織か。どのような範囲においてか述べよ。</p> <p>秩父市は、支援センターである日本セーフコミュニティ推進機構に、認証取得に向けた全体的な支援を依頼しているほか、推進協議会や各対策委員会、外傷サーベイランス委員会にも出席していただいています。</p> <p>外傷サーベイランス委員会には、医師会をはじめ、大学、保健所、消防署、警察署、市立病院などから専門家に参加していただき、データの分析や長期指標による取組みの評価に関する助言をいただいています。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>セクションG【指標5】</p>	
<p>G-1傷害予防の方策を決定するにあたって用いるデータは何か。（例えば、外傷記録は病院、保健センター、歯科医院、学校、高齢者介護組織、そして警察等で記録されている。家庭調査も外傷やリスクのある環境・状況の</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p>

<p>データ収集に活用できる。) どのような方法が用いられているか述べよ。</p> <p>予防対策を決定するにあたり、重症度に応じて次のような外傷データを収集・分析しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省の人口動態統計 ・消防本部の救急搬送データ ・警察署の警察統計(交通事故、犯罪) ・内閣府の自殺の統計 ・日本スポーツ振興センター災害共済給付データ(市内小中学校におけるケガ)など ・また、セーフコミュニティの取り組み開始にあわせて、市立病院の外傷データの収集を開始しました。 ・さらに、これら既存のデータによって把握できない軽傷やヒヤリハットの事例、安心・安全に関する意識や行動についての情報を収集するため、市民3,000人を対象としたアンケート調査を実施しました。 <p>※詳細は、「別添説明書 P.87~P.90 指標5 外傷や事故の頻度と原因継続的に記録する仕組み」を参照のこと。</p>	<p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>G-2 安全向上・傷害予防を推進するため、どのようにデータが提示されているか述べよ。</p> <p>予防対策に必要な各種データは、対策委員会から外傷サーベイランス委員会に要望があり、サーベイランス委員会において入手方法等を検討しています。入手した情報は、サーベイランス委員会の実務者グループ(データ所管担当)が、必要に応じて加工した上で、各対策委員会に提供しています。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口動態統計：市の情報を基に、厚生労働省が集積したデータを秩父保健所より毎年入手。 ・警察統計：警察が集積したデータを毎年入手。 ・救急搬送データ：消防本部が集積したデータを毎年入手。 ・安心安全に関する市民意識調査：3年に1度市が実施するアンケート調査の結果を入手。 <p>※詳細は、「別添説明書 P.87~P.90 指標5 外傷や事故の頻度と原因継続的に記録する仕組み」を参照のこと。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>G-3 どのように傷害の原因、リスク、ハイリスクの環境に関して記録し、その知識を活用するかを述べよ。また、どのように継続的な進捗を記録するか述べよ。</p> <p>各データは、市の危機管理課セーフコミュニティ担当で取りまとめて集計しています。外傷サーベイランス委員会は、専門的視点からデータの収集方法や集計結果等に対して助言していただきます。その結果は、各対策</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

委員会に提供するほか、広報紙やホームページ等で一般公開しています。各対策委員会では、そのデータを基に課題の設定を行い、課題を解決するために実施した取組みの効果測定に活用しています。

これらの進捗状況は、年間レポートとして記録していきます。

※詳細は、「別添説明書 P.87～P.90 指標5 外傷や事故の頻度と原因継続的に記録する仕組み」を参照のこと。

セクションH【指標6】

H-1 プログラムからの傾向や結果を追跡するため、どのように傷害データを分析するか。何がうまく機能していて、よい結果をもたらしているか。何を継続しようと計画しているか。何を変更しなくてはならないか述べてよ。

秩父市は、プログラムの成果を測る指標を下記のとおり段階的に設定し、各指標に応じて外傷に関するデータを分析しています。

No	指標名	プログラムとの関係	事例 (転倒予防教室)
1	活動指標	活動実績について測る指標	教室の実施回数
2	短期指標	意識の変化について測る指標	アンケート調査
3	中期指標	行動の変化について測る指標	転倒予防運動実施者数
4	長期指標	外傷発生頻度・件数の変化	転倒による受傷者の減少

各指標の結果に基づいて、プログラムを改善していきます。

秩父市では、医療機関から外傷データを収集するシステムが無かったため、セーフコミュニティ活動を契機として、市立病院の外傷データを収集する取り組みを2014年から開始しました。今後は、このデータを活用する方策について、外傷サーベイランス委員会で検討し、継続的に収集・活用していく予定です。

記述は十分か？

はい

いいえ

「いいえ」の場合、不十分な点は何か？

H-2プログラム評価の結果はどのように活用されているか述べてよ。

プログラムの評価結果は、下記のようにして活用しています。

① 取組みの改善・管理

重点課題ごとの取組みに対して定めた短期、中期、長期の成果指標を基に、対策委員会や外傷サーベイランス委員会がそれぞれの取組みを評価し、その取組みの改善等を判断しています。

② 今後のセーフコミュニティプログラムの方向性の決定

日本セーフコミュニティ推進機構に評価結果を報告し、外部評価を受けるとともに、秩父市セーフコミュニティ推進協議会では、今後の活動の方向性を決定する基礎データとして活用しています。

③ 市民へのフィードバック

記述は十分か？

はい

いいえ

「いいえ」の場合、不十分な点は何か？

<p>評価結果は、市報やホームページで市民に広く公表しています。</p>	
<p>H-3 プログラムの結果による傷害パターン、傷害リスクに対する姿勢・行動・知識における変化を述べよ。</p> <p>秩父市で実施しているプログラムの結果による変化の事例は以下のとおりです。</p> <p>事例① 転倒予防体操の普及</p> <p>教室型の転倒予防教室では、参加できる人数に限りがあることから、家庭でもできる「お茶飲み体操（茶トレ）」の普及活動を展開しています。自宅での転倒事故を予防するため、各地区の老人クラブを中心に、継続的な活動を行っています。また、一部の老人クラブで効果の測定を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者を養成する人材の育成 35人 ・お茶飲み体操参加者数 2013年度 28回 776人 2014年度 91回 2,065人 ・お茶飲み体操効果測定老人クラブ数 2014年度 1クラブ（21人） <p>従来の教室型の体操には年間 200 人程度の参加しかありませんでした。しかし、お茶飲み体操には、すでに約 3,000 人の高齢者が参加しており、高齢者人口の 15%がカバーできました。また、成果を確認するため、お茶飲み体操の効果測定を行う老人クラブ数も増やす予定です。</p> <p>事例② 自殺予防対策</p> <p>橋からの飛び降り自殺が多いことから、小中学生から募集した標語を記載した看板を橋やダムに設置しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置橋梁数 2012年度 3箇所6枚 2013年度 3箇所6枚 2014年度 2箇所5枚 可動式3枚 ・募集標語数（秩父郡内の小中学校から募集） 小学校 35校 3,309 作品 中学校 16校 1,861 作品 <p>これにより、橋からの飛び降り自殺者数が、2010 年は 11 人いましたが、2013 年は 5 人、2014 年は 1 人に減少する効果がありました。また、看板を設置することで地域住民にも自殺に関する意識を啓発することにつながっています。</p> <p>※詳細は、「別添説明書 P.49～P.87 指標4 入手及び活用可能な根拠に基づいた予防活動」を参照のこと。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

セクション I 【指標 7】	
<p>I-1 どのように国内・国外のSCネットワークに参加し、連携しているか述べよ</p> <p>秩父市は、下記のような機会を通してネットワークに参加しています。</p> <p>1 国内</p> <p>① 他の SC 推進自治体の事前審査・現地審査・認証式(I-4 にて記載)</p> <p>② 他の SC 推進自治体のセーフコミュニティ啓発イベント(I-4 にて記載)</p> <p>③ 全国SC推進自治体ネットワーク会議(I-4 にて記載)</p> <p>④ JISC主催の研修会、定例会議(I-4にて記載)</p> <p>2 国外</p> <p>① 国際会議(I-4にて記載)</p> <p>② JISC主催の海外視察(I-4 にて記載)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>I-2 認証式典は、なんらかの国際会議やその他国際的なセミナーやフォーラム、国内の交流と併せて行う予定か。</p> <p>アジア地域のセーフコミュニティの有識者を招いてのフォーラムを開催し、その中で国内のセーフコミュニティ推進自治体と交流を図る予定です。</p>	
<p>I-3どの認証コミュニティを招待する予定か述べよ。</p> <p>国内の認証自治体及び認証に向けて取り組んでいるすべての自治体(18自治体)。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>I-4 どの海外・国内の会議に参加してきたか述べよ。</p> <p><海外></p> <p>2012. 11 第6回アジア地域セーフコミュニティ会議(東京・豊島区)参加及び発表</p> <p>2014. 5 第7回アジア地域セーフコミュニティ会議(韓国・釜山)参加及び発表</p> <p><国内></p> <p>2012. 9 「2012市民安全・安心フォーラムIN こもろ」参加</p> <p>2012. 11 東京都豊島区セーフコミュニティ認証式典参加</p> <p>2012. 12 長野県小諸市セーフコミュニティ認証式典参加</p> <p>2013. 1 横浜市栄区セーフコミュニティ現地審査視察</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>2013.02 京都府亀岡市セーフコミュニティ再認証式典参加</p> <p>2013.07 JISC主催セーフコミュニティ研修会参加</p> <p>2013.08 松原市セーフコミュニティ現地審査視察/久留米市セーフコミュニティ現地審査視察</p> <p>2013.10 横浜市栄区セーフコミュニティ認証式典参加</p> <p>2013.11 厚木市清水小学校セーフスクール認証式典参加/松原市セーフコミュニティ認証式典参加/ 全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議参加</p> <p>2013.12 久留米市セーフコミュニティ認証式典参加</p> <p>2014.5 甲賀市セーフコミュニティ事前審査視察/十和田市セーフコミュニティ事前審査視察</p> <p>2014.7 JISC 主催セーフコミュニティ研修会参加</p> <p>2015.10 日本市民安全学会東日本大会参加及び発表/厚木市セーフコミュニティ再認証事前審査視察</p> <p>2014.11 北本市セーフコミュニティ現地審査視察</p> <p>2015.2 十和田市セーフコミュニティ再認証式典参加</p>	
<p>I-5 どの地域のSCネットワークに加わる予定か(加わりたいか)記載せよ。 (アジア、ヨーロッパ、環太平洋、アフリカ、ラテンアメリカの地域ネットワークがある。)</p> <p>アジア地域セーフコミュニティネットワーク</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/>はい</p> <p><input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>